

福岡県医発第632号(地)

平成16年 7月 2日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 竹 嶋 康 弘

本年の咽頭結膜熱に関する対策について

標記の件につきまして、日本医師会より別添のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

本件は、今夏の咽頭結膜熱の流行については、例年より早い時期から増加傾向がみられ、今後さらに拡大されることが予想されることから、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課より都道府県教育委員会等へ感染拡大防止のため下記の留意事項にて対応するよう通知がなされたとのことです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただき、学校医への周知方よろしくご高配の程お願い申し上げます。

記

1. 学校において児童生徒等の健康観察を十分に行うとともに、学校や地域における患者発生状況を把握する。
2. 手洗いやうがいを励行するなど、予防のための指導を充実させる。
3. 水泳前後のシャワーの励行やプールの環境衛生管理の徹底を図るなど、予防措置を充実させる。

小郡三井医師会より

担当理事 友清 明



(地Ⅱ 27)

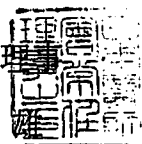
平成 16 年 6 月 18 日

都道府県医師会

学校保健担当理事 殿

日本医師会常任理事

雪 下 國



本年の咽頭結膜熱に関する対策について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今夏の咽頭結膜熱の流行については、例年より早い時期から増加傾向がみられ、今後さらに拡大されることが予想されることから、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課では、学校における咽頭結膜熱の感染拡大防止のため、別添の通り、都道府県教育委員会等に対し、本年の咽頭結膜熱に関する対策についての文書が通知されましたのでお知らせ申し上げます。

通知では、学校における咽頭結膜熱の感染拡大防止のための留意事項として、①学校において児童生徒等の健康観察を十分に行うとともに、学校や地域における患者発生状況を把握する②手洗いやうがいを励行するなど、予防のための指導を充実させる③水泳前後のシャワーの励行やプールの環境衛生管理の徹底を図るなど、予防措置を充実させる等を挙げております。

つきましては、本件に関しご了解いただくとともに、学校医に対し周知されますようお願いいたします。





事 務 連 絡
平成16年6月14日

附属学校を置く各国立大学法人事務局
各都道府県私立学校主管課 殿
各都道府県教育委員会学校保健主管課

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課

本年の咽頭結膜熱に関する対策について（依頼）

今夏の咽頭結膜熱の流行状況につきましては、例年より早い時期から増加傾向がみられ、今後さらに拡大されることが予想されます。本疾患は、例年6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークを示す夏期の疾患で、プールを介して流行することが多いので、プール熱とも呼ばれています。感染経路は通常、飛沫感染ですが、プールでは眼の結膜からの感染も考えられており、注意が必要です。

ついては、学校における咽頭結膜熱の感染拡大防止のため、下記の事項に留意し、適切に対応されるようお願いいたします。

なお、都道府県教育委員会におきましては、域内の市区町村教育委員会に対して、また、都道府県知事部局におかれましては、所管の学校法人に対して本件について周知されるよう併せてお願いいたします。

記

- 1 学校において児童生徒等の健康観察を十分に行うとともに、学校や地域における患者発生状況を把握する。
- 2 手洗いやうがいを励行するなど、予防のための指導を充実させる。
- 3 水泳前後のシャワーの励行やプールの環境衛生管理の徹底を図るなど、予防措置を充実させる。

（本件連絡先）

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課
学校保健係

TEL：03-6734-2918、2976（ダイヤルイン）

FAX：03-6734-3794

咽頭結膜熱(プール熱)が増えています。ご注意ください。

咽頭結膜熱は、

- ・発熱 (38 度～39 度)
- ・咽頭炎 (のどの痛み)
- ・眼症状 (目の炎症 結膜炎)

を主な症状とする小児の急性ウイルス性感染症です。アデノウイルスと呼ばれるウイルスがその原因となります。プールで感染することが多く、プール熱と呼ばれることもあります。

通常夏期に地域全体で流行し、6 月頃から徐々に増加しはじめ、7～8 月にピークとなります。

< リンク： 現在の流行状況 グラフ (感染研) >

予防には、以下のことに気を付けましょう。

- ・流行時には、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行する
- ・感染者との密接な接触をさける (タオルなどは別に使う)
- ・プールからあがった時は、シャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいをする。
- ・なお、消毒法としては、手指に対して 90%エタノール、器具に対して煮沸、次亜塩素酸ソーダ等が有効です。

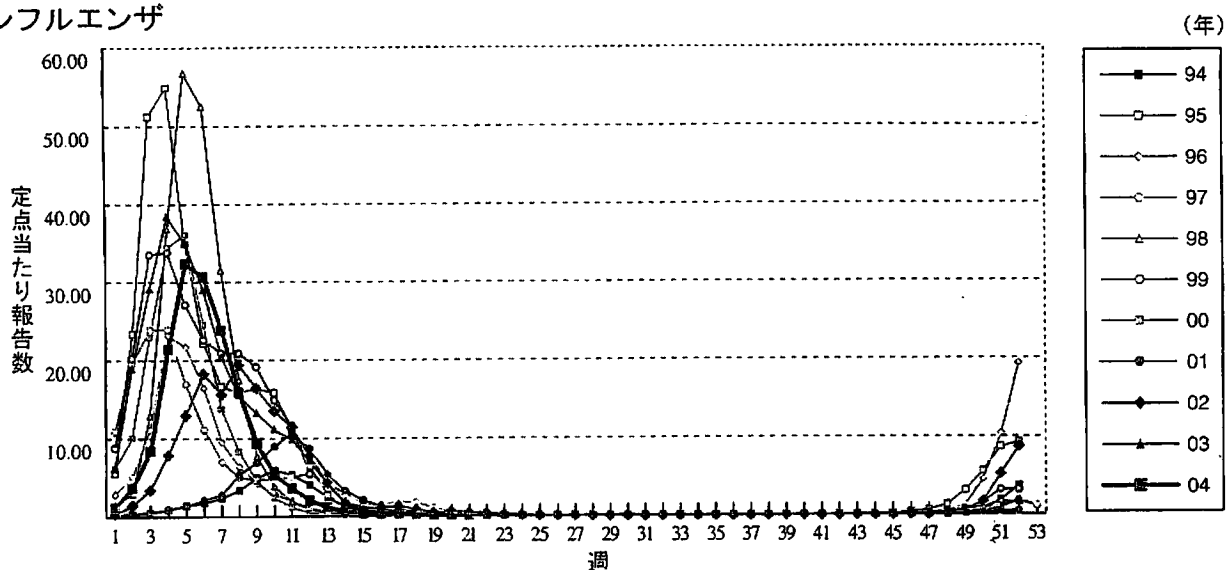
病気や予防法、消毒について、詳しくは、主治医または最寄りの保健所にお問い合わせいただくか、または国立感染症研究所感染症情報センターの以下のホームページをご参照ください。

< リンク： I D W R 感染症の話 咽頭結膜熱 (感染研) >

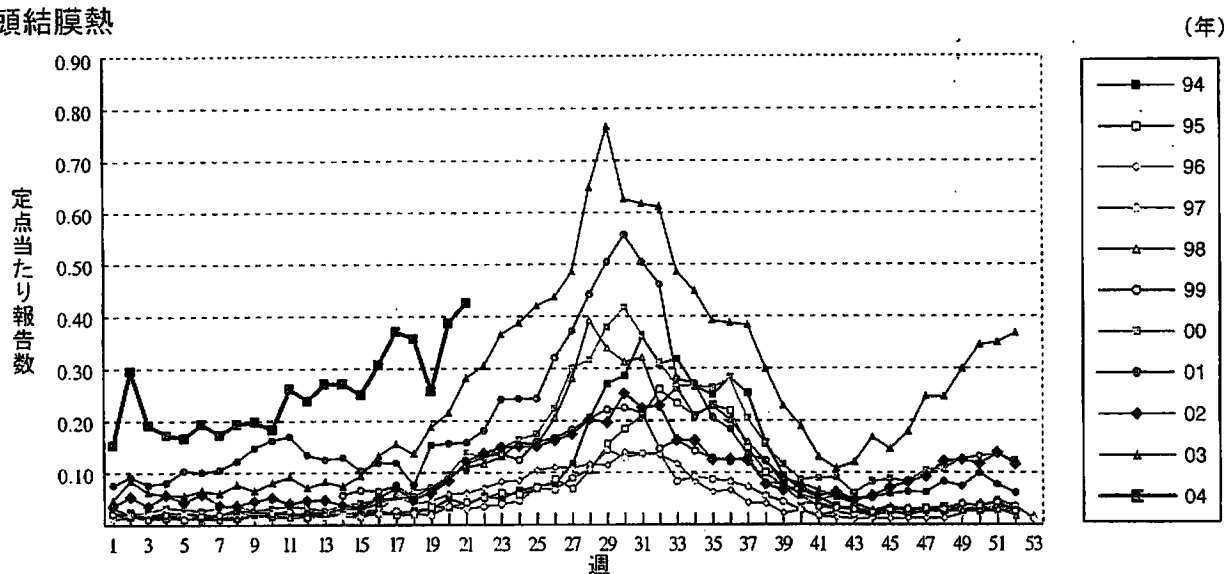


グラフ総覧 (21週)

インフルエンザ



咽頭結膜熱



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

